

# 私たちの大切な 地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



## 地域医療支援リーダー養成講習会が 実施されました ～第4回～

### 「消防から見た 救急医療（周産期以外）の現状と課題」

今月号ではシリーズの最終回として、平成22年12月14日に実施された地域医療支援リーダー養成講習会第4回目から、みよし広域連合消防本部の方による講習会についてご紹介いたします。  
(講習会資料より抜粋)

#### ■三好地区（三好市・東みよし町）の救急出動件数の推移

過去10年にさかのぼって見ると、三好地区では平成12年には1560件の救急件数がありました。以降、ほぼ増加傾向をたどり、平成18年に過去最高の1886件を記録し、平成21年には1861件となっており、1861件と比べて10年間で301件の増加であります。

また、平成22年上半期の救急出動件数は950件となっており、率では前年比6.6%増、件数にして59件増加しています。この推移の状況から平成22年1年を通して考えて見ると、三好地区始まっ

### 平成23年度 後期高齢者医療制度の 健康診査について

後期高齢者医療制度に加入されている方を対象に、糖尿病などの生活習慣病の早期発見や重症化の予防のため、健康診査の対象となる方には「健康診査受診券」をお送りしますので、ぜひ受診しましょう。

健康診査受診券送付時期  
▼入院をされていない方または生活習慣病と診断されていない方  
平成23年8月（予定）  
※右記以外の方でおおむね1年間血液検査や尿検査をしていない方は、8月以降準備が出来次第、市町村担当窓口にて健康診査申込書を備え付けますので、受診を希望される方は、担当窓口にて健康診査申込書を提出してください。

▼平成23年1月から平成23年9月までの間に後期高齢者医療制度に加入された方  
加入時期に応じ、次のとおり健康診査申込書を送付します。入院をされていない方、または生活習慣病と診断されていない方で受診を希望される方は、広域連合までお申し

込みください。受診券を後日送付します。  
▽健康診査申込書の送付時期  
①1月～3月に加入：5月  
②4月～5月に加入：6月  
③6月～7月に加入：8月  
④8月～9月に加入：10月  
※入院をされていた方または生活習慣病と診断された方は、すでに健康状態を把握され医師の指導を受けていると考えられることから健康診査の対象者から除いています。

■健診項目  
身体計測・血圧測定・血液検査・尿検査  
■受診費用  
無料  
■受診期間  
12月末日まで

お問い合わせ先  
徳島県後期高齢者医療広域連合  
電話 088-677-3666

## 子ども手当は 引き続き 支給されます

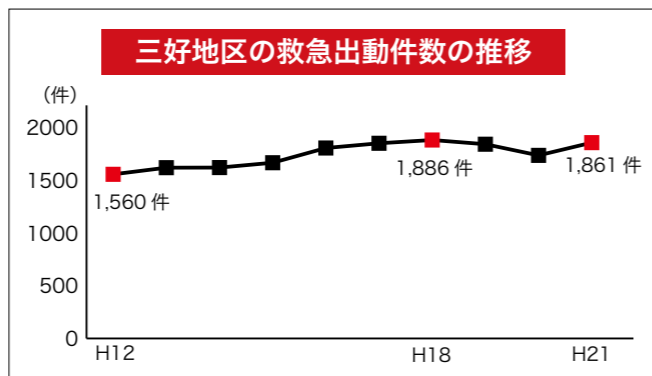
子ども手当は、平成23年4月～9月までの6か月間、これまでと同じ月額13000円です。引き続き支給されることになりました。

▽支給金額  
子ども1人につき  
月額13000円  
▽支給対象となる子ども  
0歳から中学校卒業まで（0歳から15歳になった後の最初の3月31日まで）

▽支給月  
・平成23年6月（平成23年2月分～5月分）  
・平成23年10月（平成23年6月分～9月分）  
▽申請が必要な方  
・出生などにより、新たに養育する子どもができた方  
・既に受給していて、出生などにより養育する子

子どもが増えた方が、既に受給していて、他の市町村から引越しをされた方  
子ども手当を既に受給していて、支給対象となる子どもの数に変更がない方は手続きの必要はありません。平成23年6月の現況届の提出は不要です。ただし、10月に届出・申請などが必要となる場合があります。

お問い合わせ先  
三好市子育て支援課  
電話 72-7648



て以来の2000件に迫るか、超えるものであろうと推測されます。

#### ■事故種別出動件数の推移

三好地区における平成21年と平成22年の上半期事故種別出動件数を比較してみると、火災や交通などの事故種別12項目のうち、5項目で減少しましたが3項目で大幅な増加となり、特に急病・転院の件数が合せて72件の増加でありました。

急病では、年初めの新型インフルエンザの蔓延、夏季における異常気象による熱中症傷病者の増加、また、過疎化の中で高齢の傷病者増加および複雑な社会現象の背景等から精神疾患の傷病者の増加などが急病件数の増加を招いたものと思われまます。結果として、55件の増加となりました。

次に増加傾向にある転院の説明をいたしますが、「転院」とは最初受け入れた病医院で処置困難、病室の満床、専門外およびより高度な医療機関での治療・手術を要する等の理由で、主に小規模病医院から二次救急・三次救急病医院への病院間搬送を言います。

また、この転院は条件の一つとして、搬送元の医師もしくは看護師の同乗が基本となります。そのため、地域医療機関における医師不在や県中の徳島大学病院・県立中央病院・日赤病院等への転院搬送となると、救急車が長時間地域不在となります。よって、この転院搬送の増加は数字以上に諸問題を多く含んでいるものであります。

### 西祖谷山村診療所からのお知らせ

平成23年5月から、診療時間、担当医が変更となりますので、ご確認のうえ診察にお越しください。なお 夜間電話相談の受付も致します。

【受付時間】 午前▷ 8時30分～11時30分  
(月・火曜日の診療時間は午前9時以降に変更) 午後▷ 13時～17時 (変更になる場合あり)

【休診日】 土、日曜日および祝日  
【お問い合わせ先】 西祖谷山村診療所 (電話 87-2360)

曜日	診察
月	県医師会派遣医師
火	県医師会派遣医師
水	県医師会派遣医師 吉岡所長 (午前検査、午後往診)
木	吉岡所長
金	県医師会派遣医師 もしくは吉岡所長

転院では結果として、17件の増加となりました。増加した要因は、いろいろと考えられますが、一時期問題となりました医師不足、専門病院の不足などが考えられます。

#### ■みよし広域連合消防本部の救急業務の推進状況

・車両等の整備状況  
当本部内には、4署があり5台の救急車で運用しております。(東消防署2台・池田消防署1台・西消防署1台・祖谷分署1台)  
救急車は、老朽化などに伴う国の補助事業を活用するなど随時更新しております。また、救急車内の高度救命資機材も必要に応じて整備しております。しかし、今後は補助事業にも制約があり、また、構成市町の財政状況も厳しく救急車の更新は非常に難しくなると思われます。

